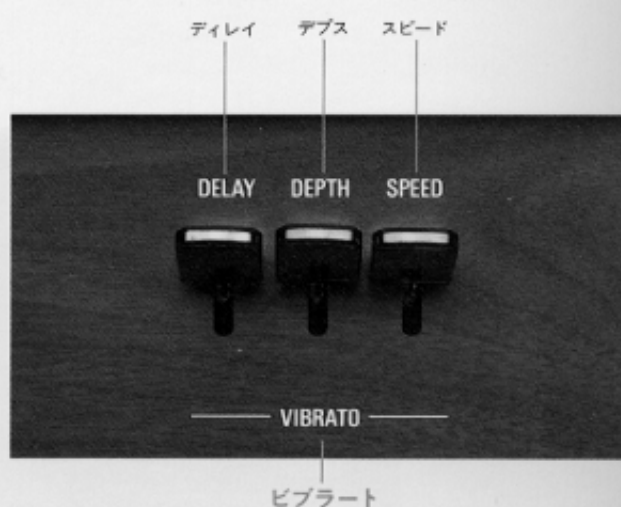
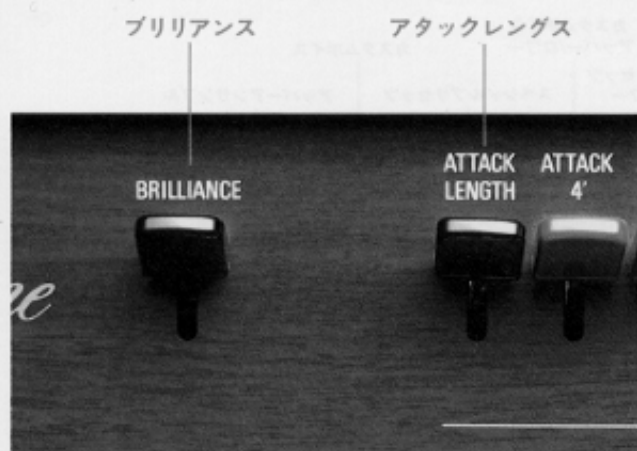


音を変化させてみましょう

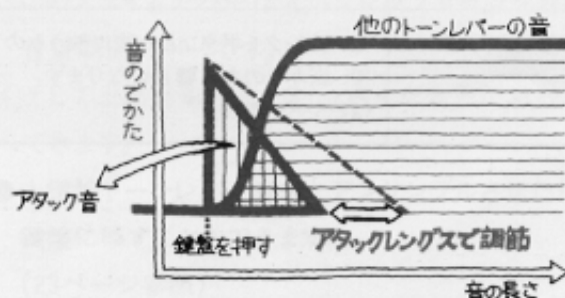


●ブリリアンス

音を明るく輝くような感じにする効果で、レバーを下にさげるほど、効果が大きくなります。特に、リード楽器(クラリネット、オーボエなど)や弦楽器(ストリング、チェロなど)の音色にかけると効果的です。上鍵盤と下鍵盤の音にかけることができます。

●アタックレングス

上鍵盤トーンレバーのアタック4、2 $\frac{2}{3}$ の長さを調節するレバーです。下にセットするほどアタック音の減衰時間(消えるまでの時間)が長くなります。



●ビブラート

音の高さを小さく上下させ、音にうるおいをあたえる効果で、上・下鍵盤の音にかけることができます。各レバーの役割は次のとおりです。

(詳しくは24ページ参照)

①デプスレバー

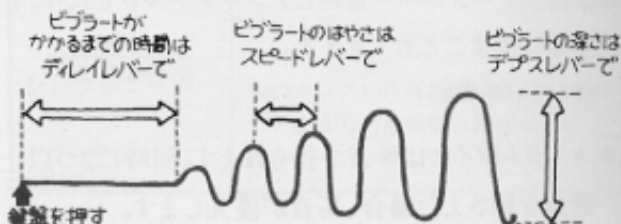
このレバーを入れるとビブラートがかかります。下にさげるほど音の高さの変化、つまりビブラートの深さが大きくなります。

②ディレイレバー

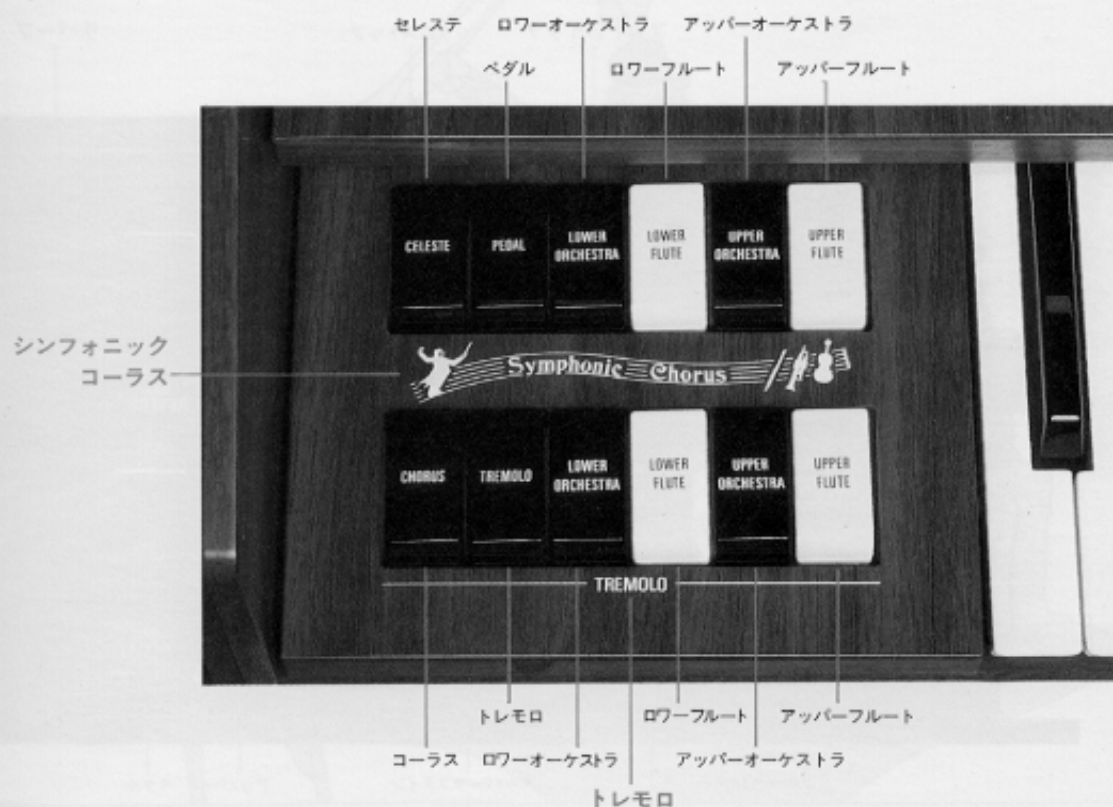
このレバーを入れると鍵盤を押してからしばらくしてビブラートがかかります。下にさげるほどかかるまでの時間が長くなります。

③スピードレバー

ビブラートの速さを調節するレバーで、下にさげるほど速くなります。



※ディレイレバー、スピードレバーを入れただけではビブラートはかかりません。



●シンフォニックコーラス

トーンレバーの音色に立体的な響きをあたえ、厚みと広がりをもたせる効果です。下の表のように、シンフォニックコーラスをかける音色をタブレットで選択することができます。

タブレット	シンフォニックコーラスがかかる音色
アッパーフルート(白)	上鍵盤のフルート音色
アッパーオーケストラ(黒)	上鍵盤のオーケストラ音色
ロワーフルート(白)	下鍵盤のフルート音色
ロワーオーケストラ(黒)	下鍵盤のオーケストラ音色
ペダル(黒)	ペダル鍵盤の音色

★セレステ(黒)

上の5つのタブレットのどれかを入れている時、このタブレットを一緒に入れると、シンフォニックコーラスの響きがゆっくりとなり、落ちついた深みのある感じをだすことができます。

●トレモロ

音にうねりをあたえるエレクトーン特有の効果で、専用スピーカーの前にあるドラムを回転させることで得られます。

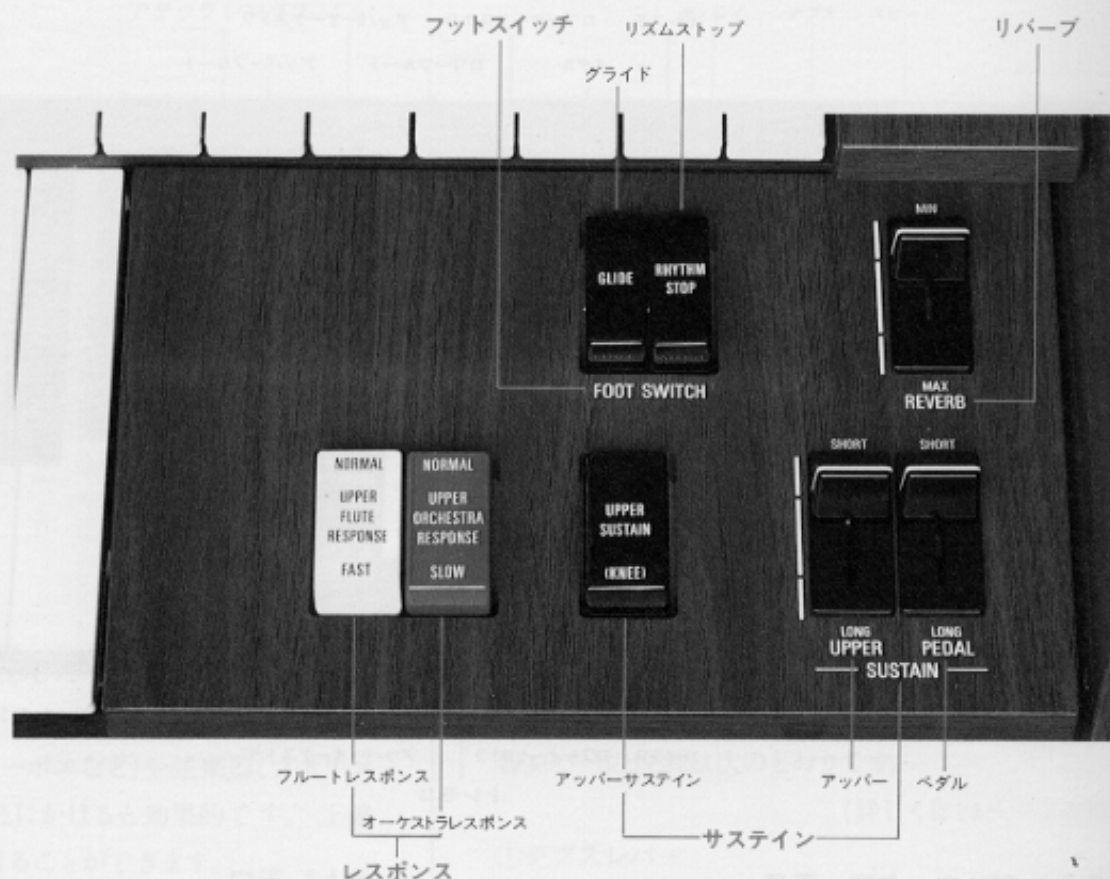
まず、次のタブレットのどちらかを入れてください。

タブレット	役 割
トレモロ(黒)	速いうねりのスイッチ
コーラス(黒)	ゆっくりしたうねりのスイッチ

次に、トレモロをかける音色を、下の表のタブレットで選択します。

タブレット	トレモロがかかる音色
アッパーフルート(白)	上鍵盤のフルート音色
アッパーオーケストラ(黒)	上鍵盤のオーケストラ音色
ロワーフルート(白)	下鍵盤のフルート音色
ロワーオーケストラ(黒)	下鍵盤のオーケストラ音色

音を変化させてみましょう



●レスポンス

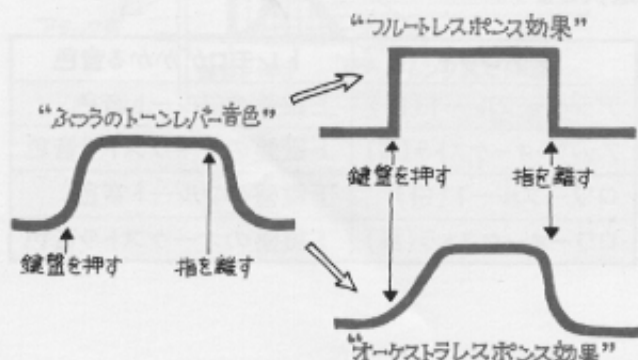
トーンレバー音色の立ち上がりと消えかたを早くしたり、おそくしたりする効果です。

アッパーフルートレスポンス

上鍵盤のフルート音色の立ち上がりと消えかたを鋭くし、歯切れのよい音にします。

アッパーオーケストラレスポンス

上鍵盤のオーケストラ音色の立ちあがりをゆるやかにし、やわらかな音にします。



●サステイン

ふつうのトーンレバー音色は、鍵盤から指を離すと音がすぐ消えてしまいますが、このサステインを使えばピアノのように音に余韻をつけることができます。



アッパーサステイン

このタブレットを入れると、上鍵盤の音にサステインがかかります。

★アッパーのスライドレバーでサステインの長さを調節してください。手前に引くほど長い余韻になります。

ペダルサステイン

ペダル鍵盤の音のサステインは、ペダルのスライドレバーを手前に引くだけでかかります。

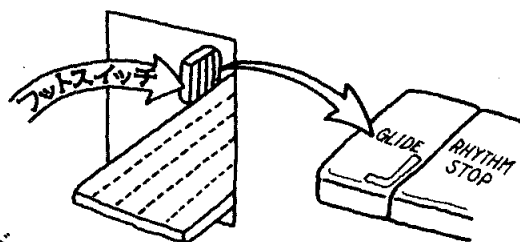


●リバーブ

音に残響をつける効果で、大ホールで演奏しているような響きが得られます。リバーブのスライドレバーを手前に引くほど残響が長くなります。効果がかけられるのは上・下鍵盤の音です。

●フットスイッチタブレット

フットスイッチの働きを決めるタブレットです。



グライド

このタブレットを入れて、フットスイッチを押すと、エレクトーンの音程を半音さげることができます。

リズムストップ

このタブレットを入れ、フットスイッチを一度押すと、オートリズムが止まります。もう一度押すと第1拍目から再びスタートします。

オートリズム 自動伴奏



シンバル、ドラム、ボンゴといった打楽器音で歯切れのよいリズムを自動的にきざむ機能です。リズムのパターンには、基本の16リズム、2つのバリエーション、ブレイクバリエーションがあります。

●基本的なオートリズムの鳴らしかた

①リズムセレクトボタンを押します。

16のボタンの中から、好きなリズムを選んで押してください。

②スタートスイッチを入れます。

2つの黒いスタートタブレットのうち、右側を入れてください。選んだリズムが鳴りはじめます。

③速さ、音量、バランスを調節します。(26ページ参照)

テンポ

リズムの速さを調節。



ボリューム

リズムの音量を調節。



バランス

リズムの高・低音のバランスを調節。

★シンクロスタート

右側のスタートタブレットのかわりに、左側のシンクロのタブレットを入れると、下鍵盤かペダル鍵盤を押すまでリズムは鳴りません。鍵盤を押さえると同時にリズムが第1拍目からスタートします。

★デジタルディスプレイ

セットしているリズムのテンポを1分間に打つ4分音符の数で表示します。

●リズムセレクトボタン



以上が基本の16リズムですが、2つ以上のボタンを同時に押せば、それらが組み合わせられ、より複雑なリズムが得られます。

●8バー・16バー(バリエーション)

リズムセレクトボタンを押した上で、これらのボタンを押すと、選んだリズムの中に、バリエーションパターンが自動的に入ってきます。

8バー

8小節目ごとに、バリエーションパターンが自動的に入ってきます。

16バー

16小節目ごとに、バリエーションパターンが自動的に入ってきます。

★ ノーマルのボタンは8バー、16バーをキャンセルするボタンです。

●ブレイクバリエーション

リズムにアクセントをつける変則リズムです。リズムが鳴っている時、緑のボタンを押すと、その瞬間からブレイクバリエーションに切りかわります。

① 16のリズムから、好きなリズムを選び、スタートさせておきます。

② ONのボタンを押します。

変則リズムを入れたいところになったら、緑色のONのボタンを押してください。ボタンが点灯し、それまで鳴っていたリズムから、ブレイクバリエーションに変わります。



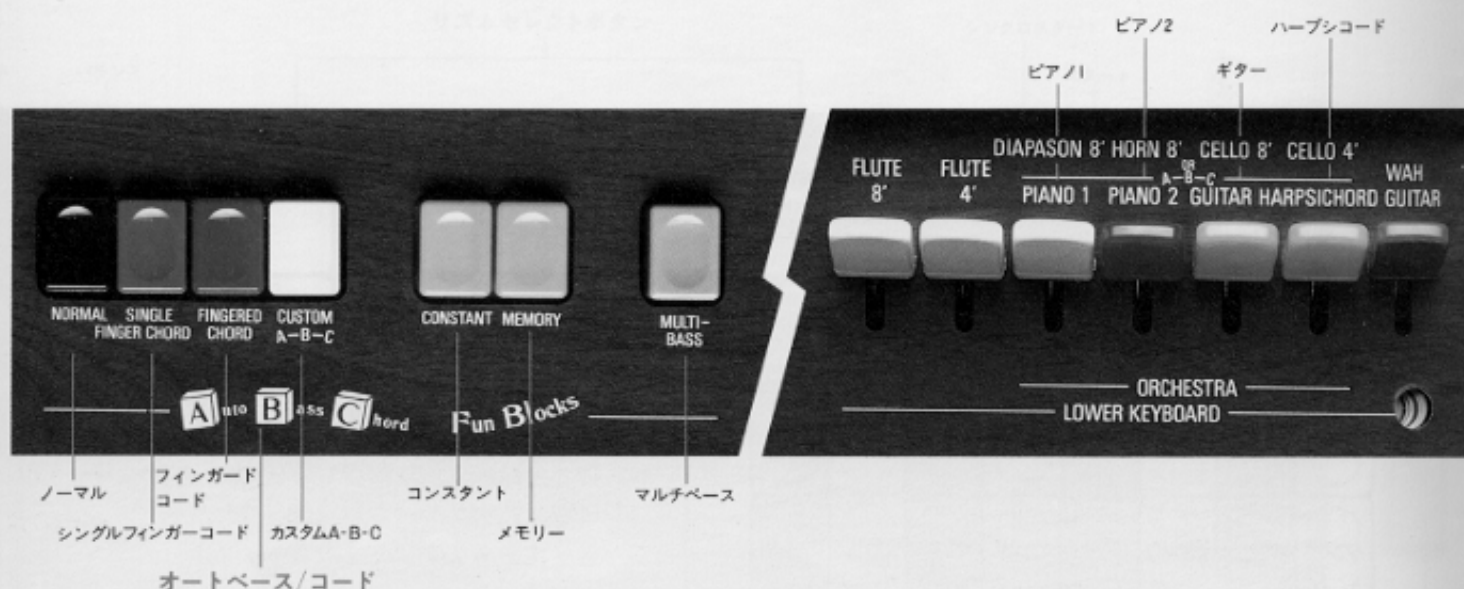
③ ONのボタンから指を離します。

指を離すと、その小節の終わりまでブレイクバリエーションが続き、次の小節はセットされたリズムにもどります。

★イントロ

ブレイクバリエーションはイントロとしても使うことができます。この場合、まず緑色のONのボタンを押し、スタートスイッチによりスタートさせてください。

オートベース/コード 自動伴奏



左手と左足のむずかしい和音伴奏が、下鍵盤を押さえるだけで自動的に得られる便利な機能です。この機能を使えば、下鍵盤とペダル鍵盤の音が和音になり、リズムにのってきざまれます。

●指1本で伴奏をつけるには

①オートリズムをセットします。

リズムセレクトボタンを押し、リズムスタートスイッチはシンクロを入れておきます。

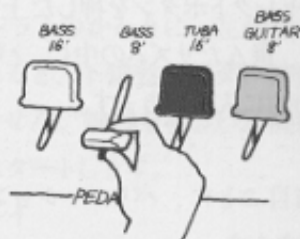
②下鍵盤トーンレバーをセットします。

ピアノ1・ピアノ2・ギター・ハーブシコードのレバーをいくつか入れてください。これらはABCトーンといって、オートベース/コード用の下鍵盤の音色です。



また、下鍵盤トーンレバーのフルート音色をセットすれば、和音の持続音としてリズム伴奏に厚みを加えます。お好みによってセットしてください。

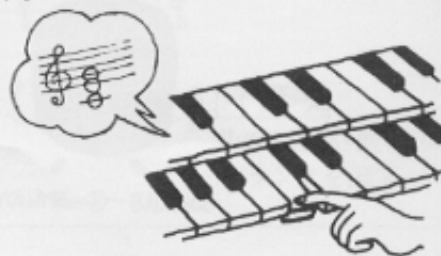
③ペダル鍵盤トーンレバーをセットします。



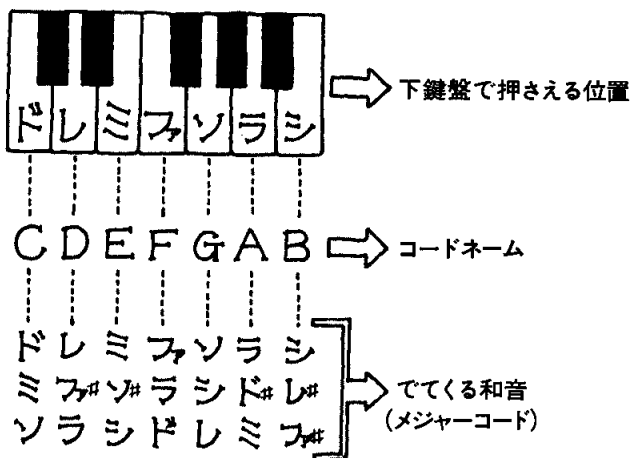
④緑のシングルフィンガーコードのボタンを押します。

⑤下鍵盤のひとつを押さえます。

例えばドを押さえると、下鍵盤トーンレバー(ABCトーン)の音色がドミソの和音になり、オートリズムにのってきざまれます。さらにペダル鍵盤の音色もベース伴奏として自動的に加わり、楽しいリズム伴奏が得られます。



★下鍵盤と伴奏和音の関係



★セブンスコード、マイナーコードの dash しかた

例えば、G7、Am というようなコード名が楽譜に書かれている時は、ペダル鍵盤と一緒に踏めば、その和音をだすことができます。

例えば

A のとき——下鍵盤でラを押さえます。

A7 のとき——下鍵盤でラを押さえ、ペダル鍵盤の茶色の鍵盤を踏みます。



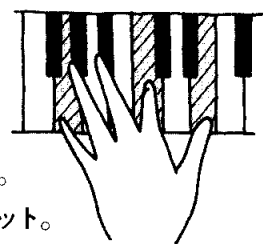
Am のとき——下鍵盤でラを押さえ、ペダル鍵盤の黒鍵を踏みます。



Am7 のとき——下鍵盤でラを押さえ、ペダル鍵盤の茶色と黒の鍵盤を同時に踏みます。

(踏むペダル鍵盤はどの位置でもかまいません。)

●押さえたとおりの和音で伴奏をつけるには



- ①オートリズムをセット。
- ②下鍵盤トーンレバーをセット。
- ③ペダル鍵盤トーンレバーをセット。
- ④赤のフィンガードコードのボタンを押します。
- ⑤下鍵盤で和音を押します。

押さえたとおりの和音で下鍵盤トーンレバー(ABC トーン)の音がリズム伴奏をきざみ、さらにベース音も自動的に加わります。

●メモリーボタン

下鍵盤から指を離しても、自動伴奏の音がそのまま鳴り続ける機能です。これを使うと伴奏のコードが変わるときだけ、鍵盤を押さなおせばよいわけです。

●マルチベース

シングルフィンガーコード、フィンガードコードなどを使っている時、このボタンを押すと、ベース音(ペダル鍵盤の音)の自動伴奏パターンが変化します。

★オートベース/コードを使わないときはノーマルのボタンを押しておいてください。

★カスタムA-B-C、コンスタントのボタンは27,28ページを参照してください。

オートアルペジオ 自動伴奏



パターンセレクトボタン

オートアルペジオ

ボイス

サステイン

アルペジオとは、ハープのように和音を分散して連続的に奏でる演奏法のことです。エレクトーンでは、下鍵盤で押さえた音をもとに、このアルペジオが自動的に得られます。

●オートアルペジオの鳴らしかた



①オートリズムをセットします。

リズムセレクトボタンを押し、リズムスタートスイッチはシンクロのタブレットを入れておきます。

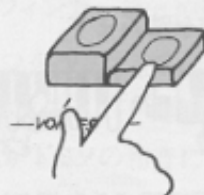
②パターンセレクトボタンを押します。

6種類のアルペジオパターンがあります。好きなボタンを選んで押してください。



③ボイスのボタンを押します。

アルペジオの音色には、ボイス1と2があります。1と2を組み合わせることもできます。



④ボリュームのスライドレバーを手前に引きます。

オートアルペジオ専用の音量調節レバーです。

⑤下鍵盤を押さえます。

押さえた鍵盤の音をもとに、アルペジオが自動的にきざまれます。

★サステインのレバーを下にさげると、アルペジオ音にサステイン(余韻)効果がかけられます。

●オートベース／コードと組み合わせて使えます

オートアルペジオを鳴らしている時、オートベース／コードも同時に使って、より楽しい自動伴奏を得ることができます。

シングルフィンガーコードを入れると。

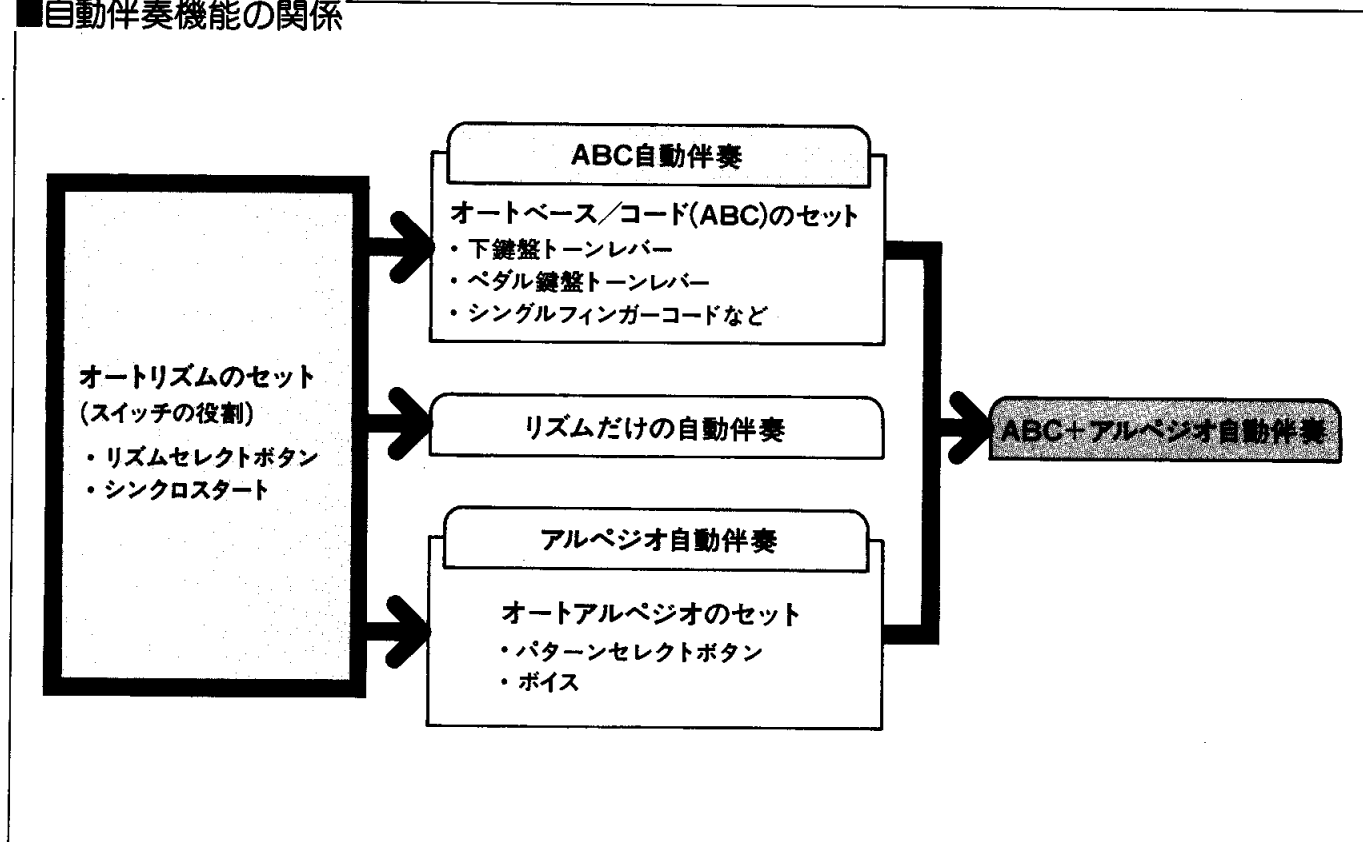
16ページで説明したように、下鍵盤をひとつ押さえるだけで自動的に和音になってリズム伴奏が得られます。

オートアルペジオは、その和音にしたがったパターンに変わり、より高度なアルペジオを簡単にだすことができます。

メモリーを入れると。

下鍵盤から指を離しても、それまで鳴っていたリズム伴奏とアルペジオがくり返されます。

■自動伴奏機能の関係



さらに 詳しく知るために。

PART I をお読みになって、各機能の基本的な操作法はおわかりいただけたでしょうか。このPART II では、エレクトーンのさまざまな音づくりを中心に、演奏にあたって知っておいていただきたいことを説明していきます。PART I を読んで、さらに詳しくエレクトーンを知りたいというかた、すべての機能を余すことなく知りたいというかたは、ぜひPART II をごらんになってください。

エレクトーンの機能を十分にご理解いただき、美しい音色、豊かな響きを心ゆくまでお楽しみください。

目次

1. 音色	21
2. 効果	24
3. オートリズム	26
4. オートベース/コード	27
5. オートアルペジオ	29

1. 音色

●トーンレバーのカブラー効果

FLUTE 8' はフルート8フィートと読みます。16' は16フィート、4' は4フィートです。これはパイプオルガンのパイプの長さに由来するもので、エレクトーンではその音色の音程を示しています。8' が基準の音程です。

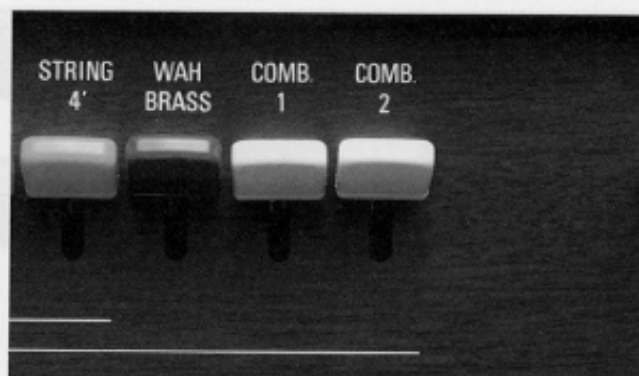
	フィート数	実際にでる音	使われかたの例
上・下 鍵盤	16'	1オクターブ下の音	厚みを加える
	8'	押さえた鍵盤と同じ音程	基本的な音
	5 1/3'	5度上の音	ジャズオルガンの感じにする
	4'	1オクターブ上の音	強さと明るさを加える
	2 2/3'	1オクターブと5度上の音	するとい感じにする
	2'	2オクターブ上の音	かたい音にする
ペダル 鍵盤	16'	踏んだ鍵盤と同じ音程	基本的な音
	8'	1オクターブ上の音	強さと明るさを加える

例えば、FLUTE 16' 8' 4' を同時に入れ、ひとつ鍵盤を押さえた場合、ひとつしか押していないにもかかわらず1オクターブずつ違う3つの音を同時にだすことができます。カブラー効果とは、このようにひとつの鍵盤を押さえるだけで、音程の違う音色をだし、厚みのあるサウンドを得る効果をいいます。

★ペダル鍵盤の音は16' を基準にしています。

●ペダルピッチコントロール

ペダル鍵盤の音程を微妙にコントロールするつまみで、ニールバーの右奥についています。上・下鍵盤の音程と少しずつして演奏することにより、響きに厚みが加わり、豊かな広がりが得られます。中央の位置が標準の音程になっていますから、好みによって調節してください。



●アッパープリセット

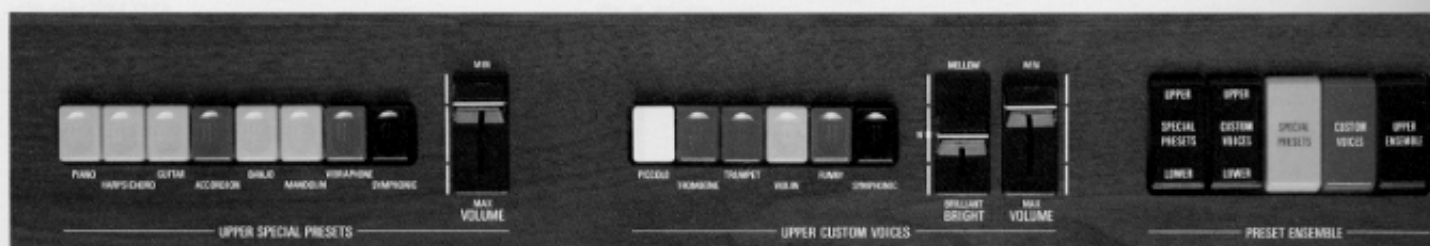
上鍵盤トーンレバーのうち、右端の2つのレバーはアッパープリセットといって、単独で使う音色です。このCOMB. 1、COMB. 2のいずれかを入れたら、他の上鍵盤トーンレバーはすべてキャンセルされます。したがって、上鍵盤で得られる各音色の優先順位は次のようになります。

他のトーンレバー < アッパープリセット < スペシャルプリセット、カスタムボイス (< 優先)

ただし、アッパーアンサンブルのタブレットを入れることで、スペシャルプリセット音色、カスタムボイス音色と、アッパープリセット音色は組み合わせられます。

★アッパープリセットを両方入れた場合は、COMB. 2が優先します。

1. 音色



●SPECIAL PRESETS (スペシャルプリセット)

7種類の楽器の音色がセットされていて、プリセットアンサンブルのスペシャルプリセットのタブレットを入れれば、上鍵盤または下鍵盤からだすことができます。

SYMPHONIC(シンフォニック)

スペシャルプリセットの音色にシンフォニックコーラスをかけるボタンです。スペシャルプリセットの音をだしている時、このボタンを押すと、3チャンネルのスピーカーから音がでて、幅のある豊かな音になります。

★スペシャルプリセット音色同士では組み合わせられません。もし2つ以上セレクトボタンを押した場合は、右側のボタンが優先され、1種類の音色しかでできません。

●CUSTOM VOICES (カスタムボイス)

プリセットアンサンブルのカスタムボイスのタブレットを入れれば、生き生きとした5種類の楽器音を上鍵盤または下鍵盤からだすことができます。

SYMPHONIC(シンフォニック)

この黒のボタンを他のセレクトボタンと一緒に入れると、カスタムボイスの音色にシンフォニックコーラスをかけることができます。3チャンネルのスピーカーから同時に音がでますから、広がりのある響きが得られます。

BRIGHT(ブライト)

カスタムボイス音色の感じを変化させるスライドレバーです。

MELLOW(メロー)側……やわらかく豊かな感じになります。

BRILLIANT(ブリリアント)側……明るくきらびやかな感じになります。

★カスタムボイスの音色も一度にひとつの音色しか選べません。もし2つ以上セレクトボタンを同時に押した場合は、右側のボタンが優先され、1種類の音色しかでできません。

●PRESET ENSEMBLE

(プリセットアンサンブル)

スペシャルプリセット音色とカスタムボイス音色の使いかたを決めるタブレットです。上鍵盤から単独でだす基本的な使いかたの他に、上鍵盤トーンレバーと組み合わせたり、下鍵盤に移して下鍵盤トーンレバーと組み合わせたりもできます。

UPPER ENSEMBLE(アッパーアンサンブル)

スペシャルプリセット音色とカスタムボイス音色を、上鍵盤トーンレバー音色とアンサンブルさせるタブレットです。トーンレバーとスペシャルプリセットまたはカスタムボイスのセレクトボタンをセットし、スペシャルプリセット(黄)、またはカスタムボイス(赤)のタブレットを入れておきます。そこに、このアッパーアンサンブルのタブレットを入れればアンサンブルされた音が得られます。

SPECIAL PRESETS UPPER/LOWER(スペシャルプリセット アッパー/ロワー)

スペシャルプリセット音色を下鍵盤からだしたい時に使うタブレットです。スペシャルプリセット(黄)のタブレットと同時に、このタブレットを入れてください。この時、下鍵盤トーンレバーをセットしていればアンサンブルされます。単独でだしたい時は、下鍵盤トーンレバーを切ってください。

★この場合、上鍵盤と同じ位置の鍵盤を押すと、1オクターブ上の音がでます。

★この状態でオートベース/コードのシングルフィンガーコード、フィンガードコード、カスタムA-B-Cのいずれかを使うと、スペシャルプリセット音色はでなくなります。

CUSTOM VOICES UPPER/LOWER(カスタムボイス アッパー/ロワー)



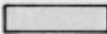
カスタムボイス音色を下鍵盤に移すタブレットです。カスタムボイス(赤)のタブレットと同時に、このタブレットを入れてください。下鍵盤トーンレバー音色とアンサンブルされて、下鍵盤から音がでます。単独でだしたい時は、下鍵盤トーンレバーを切ってください。





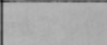
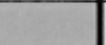




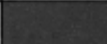
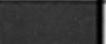





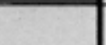





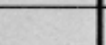










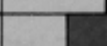





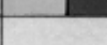
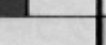




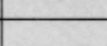
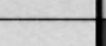




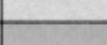
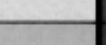




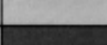











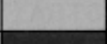
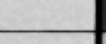





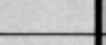




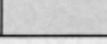
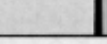
★この場合、上鍵盤と同じ位置の鍵盤を押すと、1オクターブ上の音がでます。

★この状態でオートベース/コードのフィンガードコード、カスタムA-B-Cを使うと、カスタムボイス音色を下鍵盤からだすことができます(単音)。

★タブレットの入れ方とでてくる音

上・下鍵盤のトーンレバーを入れている時の音のでかたです。

-  はスペシャルプリセット音色
-  はカスタムボイス音色
-  はトーンレバー音色です。

UPPER SPECIAL PRESETS UPPER LOWER CUSTOM VOICES UPPER LOWER	上鍵盤で でてくる音	下鍵盤で でてくる音
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		
   		

※アッパー/ロワーは、アッパーアンサンブルのタブレットに優先します。

2. 効果

●VIBRATO(ビブラート)

音をこきざみに震わせる効果で、上・下鍵盤の音にかけることができます。DELAY、DEPTH、SPEEDのレバーの操作によって次の2種類のビブラートが得られます。

普通のビブラート

DEPTH(デプス)レバーを下におろすことでかかります。このレバーはビブラートの深さ(音の高さの変化量)をコントロールするもので、下にさげるほどビブラートが深くなります。

SPEED(スピード)レバーは、デプスレバーでセットしたビブラートの速さをコントロールするもので、下にさげるほど速いビブラートが得られます。

ディレイビブラート

鍵盤を押してから少し間をおいてかかるビブラートで、上鍵盤の音色にかかります。まず、DEPTHレバーを入れ普通のビブラートをセットしておきます。次に、DELAY(ディレイ)レバーを入れ、上鍵盤を押すと、ディレイビブラートがかかった音が得られます。このディレイレバーを下にさげるほど、ビブラートがかかり始めるまでの時間は長くなります。SPEEDレバーで速さを調節できるのは、普通のビブラートと同じです。

●Symphonic Chorus (シンフォニックコーラス)

エレクトーン独自の電子回路により、音にうるおいと輝きをもたせる効果です。しかも、3チャンネルシステムがフルに働き、左、右、中央の3つのスピーカーから、シンフォニックコーラスのかかった音色が得られますから、より立体的で豊かな響きとなります。次の5つのタブレットの選択で、シンフォニックコーラスをかけわけてください。

UPPER FLUTE (アッパーフルート)
UPPER ORCHESTRA (アッパーオーケストラ)
LOWER FLUTE (ロワーフルート)
LOWER ORCHESTRA (ロワーオーケストラ)
PEDAL (ペダル)

★CELESTE(セレステ)は上の5つのタブレットと一緒に使います。シンフォニックコーラスのかかりかたがゆるやかになり、独特の響きが得られます。

●TREMOLO(トレモロ)

エレクトーンに内蔵されているトレモロスピーカーの前面でドラムを回転させ、音にうねりと広がりを持たせる効果です。ただし、低音域はトレモロをかけていてもセンターチャンネルのスピーカーからでます。

TREMOLO(トレモロ)……速いトレモロのスイッチ

CHORUS(コーラス)……ゆっくりしたトレモロのスイッチ

この2つのタブレットのうち、どちらかを入れなければトレモロ効果はかかりません。同時に入れると、TREMOLOが優先します。次に、トレモロ効果をかける音色を以下のタブレットで選びます。

UPPER FLUTE (アッパーフルート)

UPPER ORCHESTRA (アッパーオーケストラ)

LOWER FLUTE (ロワーフルート)

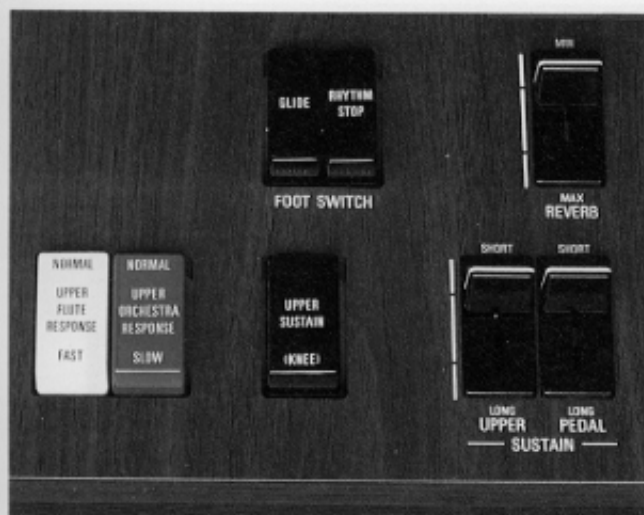
LOWER ORCHESTRA (ロワーオーケストラ)

選んだタブレットの音は、トレモロ効果専用のトレモロスピーカーに送られます。

★TREMOLO SPEED(トレモロスピード)のつまみは、下鍵盤の右側の奥にあります。TREMOLOタブレットを入れている時、このつまみでスピーカーの前にあるドラムの回転速度を調節し、トレモロのかかりかたを微妙に変化させることができます。



★トレモロ効果とシンフォニックコーラス効果は組み合わせて使えます。ただし、同じ表示のあるタブレット(例えば、UPPER FLUTEとUPPER FLUTE)を同時に入れると、シンフォニックコーラスのみがかかります。シンフォニックコーラスをオーケストラ音色に、トレモロをフルート音色に、というようにお使いください。



●RESPONSE (レスポンス)

エレクトーンのトーンレバー音色は、厳密にいうと、鍵盤を押してからゆるやかに音がでて、鍵盤を離すとゆるやかに音が消えるようになっています。この音のでかたと消えかたをコントロールするのがレスポンス効果です。

UPPER FLUTE RESPONSE (上鍵盤フルートレスポンス)

このタブレットを入れると、次の音色の立ちあがりや消えかたが鋭くなり、歯切れのよい音になります。

上鍵盤トーンレバーのフルート音色

上鍵盤トーンレバーのアタック音

コンビネーション1、2の中のフルート音色、アタック音

UPPER ORCHESTRA RESPONSE (上鍵盤オーケストラレスポンス)

このタブレットを入れると、次の音色の立ちあがりや消えかたがソフトになります。

上鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色とワウラス

コンビネーション2の中のオーケストラ音色

★サステインタブレットを入れると、フルートレスポンス効果はきかなくなります。(ニーレバーがたたまれているとき)

●SUSTAIN (サステイン)

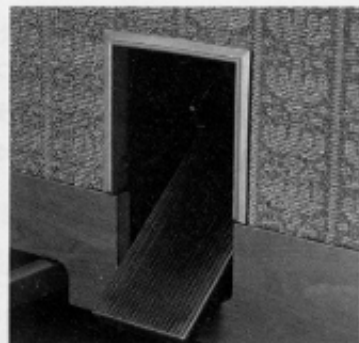
サステイン効果は、上鍵盤とペダル鍵盤の音にかけることができます。アッパーサステインがかかる音色は、上鍵盤トーンレバー音色、スペシャルプリセットのピアノ、ハーブシコード、ギター、ビブラフォン音色です。

★スペシャルプリセット音色にかけられるサステインの長さは一定で、スライドレバーでは調節できません。

★サステインタブレットを入れるとアタック4、2 $\frac{3}{4}$ と、コンビネーション1の中のアタック音はでなくなります。

★ニーレバー (上鍵盤のサステインのみ)

ニーレバーを使うと、演奏中でも任意にサステインをかけたり、かけなかったりできます。サステインのタブレットとスライドレバーをセットしておきます。この状態でニーレバーを立てると、サステインはかかりません。このニーレバーを右ひざで右に押すとサステインをかけることができます。なお、あらかじめサステインのかかっているビブラフォン音色は、ニーレバーを立てるとかからなくなりますから、ニーレバーを右に押すことで任意にサステインがかけられます。



●FOOT SWITCH (フットスイッチ) で得られる効果

フットスイッチの操作で得られる効果は次の2種類です。

GLIDE (グライド)

フットスイッチを押している間、音を半音さげる効果です。この効果を使うと、ウエスタンギターやハワイアンギターのような音も得られます。このタブレットを入れ、鍵盤を押したままフットスイッチを左に押すと、上・下鍵盤の音程が半音さがり、フットスイッチをはなすと音程がもとにもどります。

RHYTHM STOP (リズムストップ)

フットスイッチの操作で、リズムを一時ストップさせる機能です。リズムが鳴っている時、このタブレットを入れ、フットスイッチを一度押すとリズムが止まります。もう一度フットスイッチを押すと再びリズムがスタートします。

★フットスイッチでリズムをストップさせている時、リズムストップのタブレットを切ると、リズムはスタートします。